

# 地域予算制度

令和2年度先行実施 = 2地域 (旧実穀小学校地区・旧吉原小学校地区)  
 令和3年度から = 全8地域 (旧小学校区)

## 1. 地域予算制度の目的

小さな声も聞き、自分たちの地域のことを考える自治意識が根付いている状態を目指します。

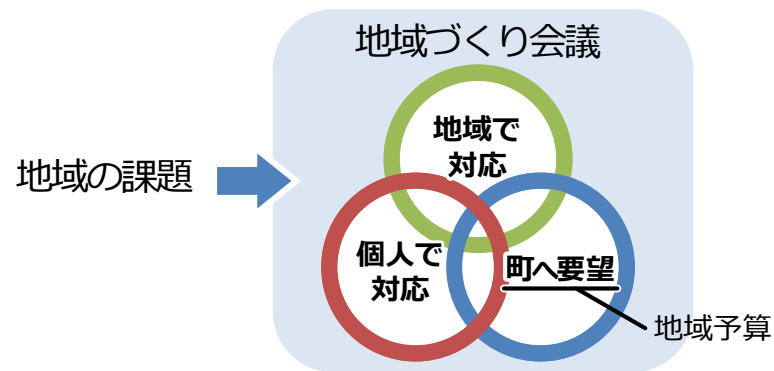
**町民** 町で何とかしてくれないかなあ？ → 身の回りのことは自分たちで考えよう！

**町** 町民は何を求めているんだろう？ → 町民の求めていることに予算を付けよう！

## 2. 「地域づくり会議」の設置

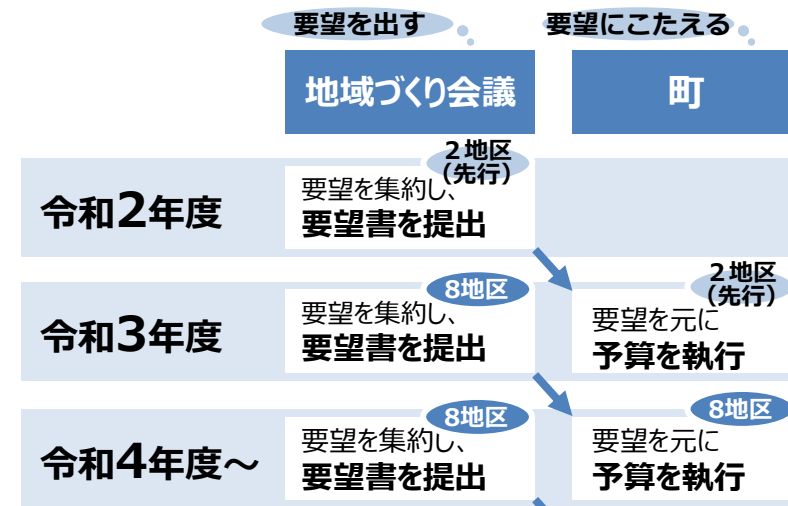
旧小学校区ごとに「地域づくり会議」を設置し、

- ① 地域を良くするための話し合いを行い、対応策を検討します。
- ② 地域でできないことは町の翌年度の予算に要望します。



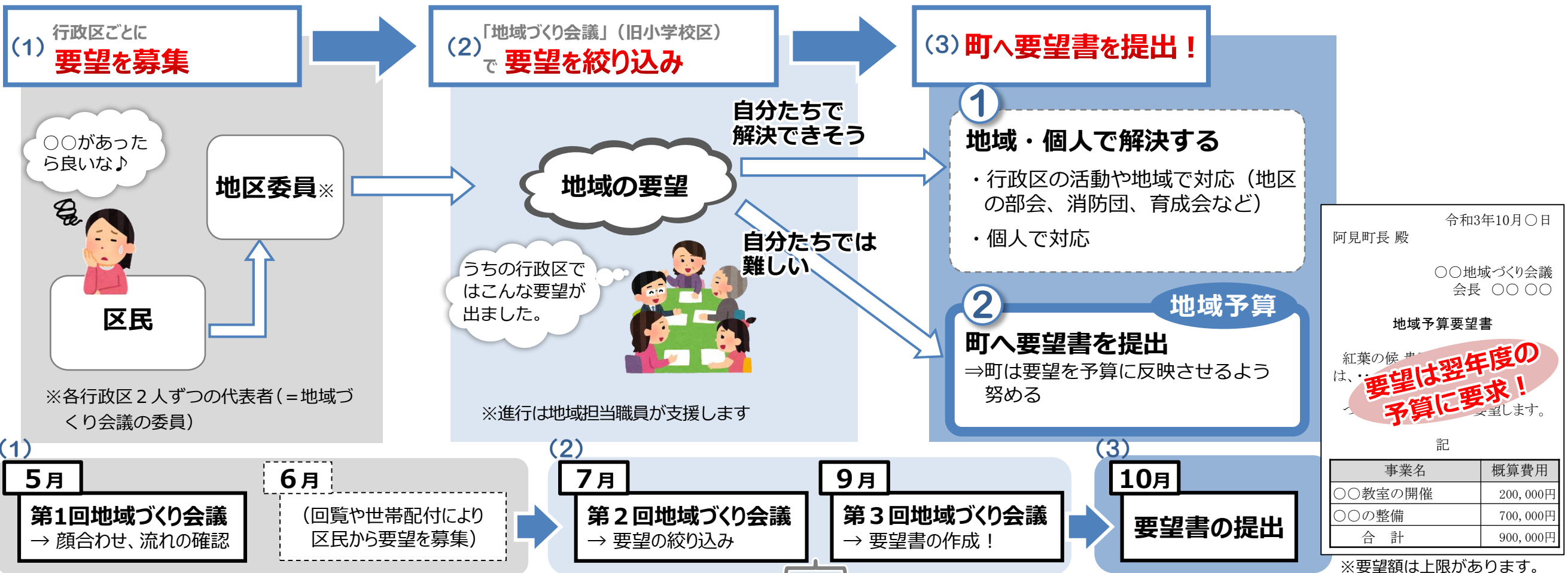
## 3. 運営スケジュール

地域づくり会議では町への要望を作成し、町は翌年度の予算に要望を反映させるよう努めます。



以下、繰り返し

## 4. 予算要望の流れ (年間スケジュール)



令和3年10月〇日  
 阿見町長 殿

〇〇地域づくり会議  
 会長 〇〇〇〇

地域予算要望書

紅葉の候、  
 は、  
 〇〇〇〇

**要望は翌年度の  
 予算に要求!**

記

事業名	概算費用
〇〇教室の開催	200,000円
〇〇の整備	700,000円
合計	900,000円

概算費用や対応可能な要望かどうか、役場内でもあらかじめ確認します。